

医療用品04 整形用品

一般医療機器 ギプス包帯 33056000

ハイブリッドシーネ サムスパイカ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- 再使用禁止。
- 使用する水の温度を、25℃より高くしないこと。
[化学反応による発熱から低温熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
- 創傷に直接当てないこと。

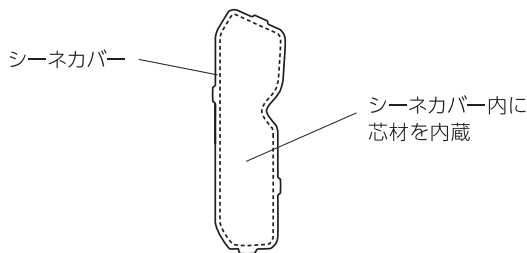
【形状・構造及び原理等】

1. 構造

本品は、水硬化性ポリウレタン樹脂を含浸させたポリエステル製の芯材と、それを覆うポリエステル製不織布で構成されたギプスシーネ、アルミニウム製のステー、シーネホルダーからなるキットです。

本品の構成は下記のとおりです。

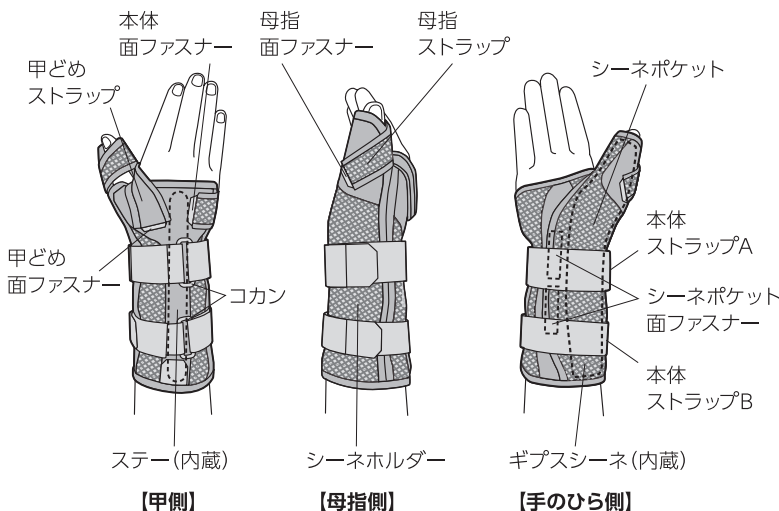
①ギプスシーネ



②ステー ※シーネホルダーのステーカバーに挿入されています。



③シーネホルダー



2. 種類、寸法

サイズ		適用範囲 (手首周囲)
右M	左M	13cm~16cm
右L	左L	16cm~19cm

サイズの選び方

手首の周囲に合わせて選んでください。手首の周囲が一番細いところを計測してください。計測値が2サイズのさかいになった場合は、大きい方のサイズを選んでください。

3. 包装

1個/1箱

4. 原理

本品は、シーネホルダーにギプスシーネを挿入し、患部の形状に合わせる事ができます。ギプスシーネは空気中の湿気または水に接触すると樹脂が硬化します。

【使用目的又は効果】

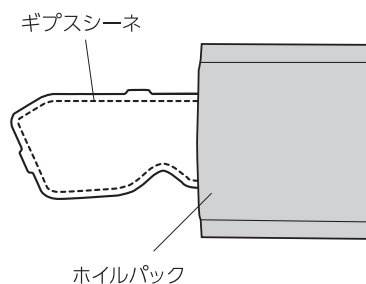
母指及び手関節の固定をします。

【使用方法等】

1. 装着手順

以下の手順は右手の場合です。左手に装着する場合も同じように装着してください。

- 1) ホイルパックを開封し、ギプスシーネを取り出します。



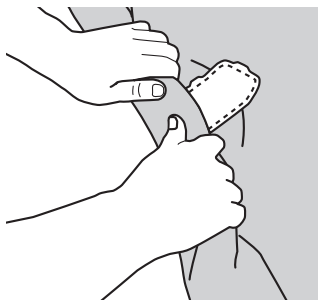
2) ギプスシーネを水につけます。芯材に水が浸透するように、水の中で数回ギプスシーネを揉んでください。



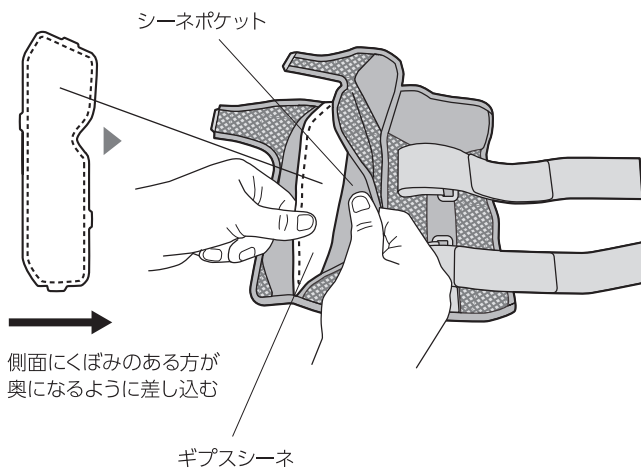
3) ギプスシーネを水から取り出し、しっかりと絞ってすみやかに余分な水分を切ってください（硬化を早めたい場合は、水を多めにつけてください）。



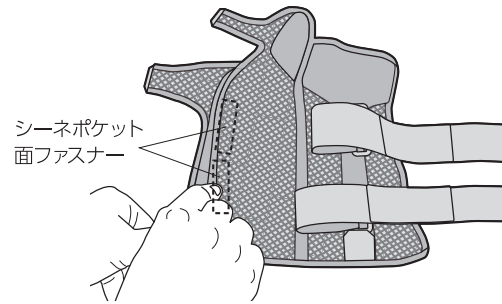
4) ギプスシーネをタオルで包み、きつく巻いて、さらに余分な水分を取り除きます。何度か繰り返し、できるだけ余分な水分を取り除いてください。



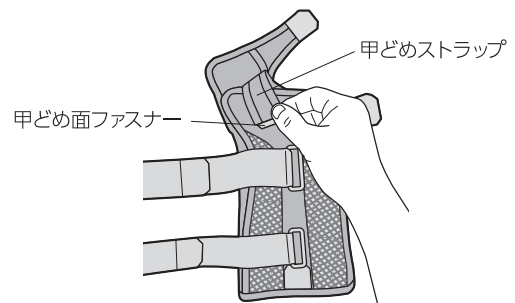
5) 本体面ファスナー、母指面ファスナー、甲ども面ファスナーを取り外し、シーネホルダーをひらいて、シーネポケットを上にして置きます。シーネポケット面ファスナーを取り外し、シーネポケットにギプスシーネを奥まで入れます。側面にくぼみのある方を奥にして差し込んでください。



6) シーネポケット面ファスナーをしっかりとめます。ギプスシーネにしわがないことを確認してください。

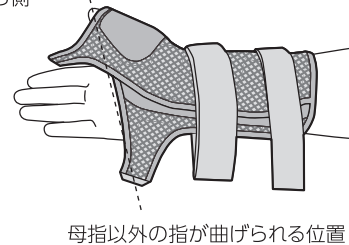


7) 甲どもストラップを折り返し、甲ども面ファスナーをシーネホルダーの甲側起毛部分に仮どめます。

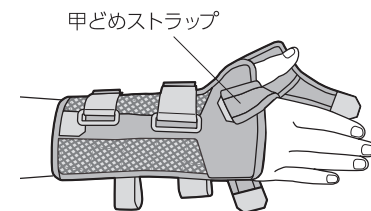


8) ギプスシーネが手関節の手のひら側にくるようにし、甲どもストラップが母指にかかる位置に合わせます。

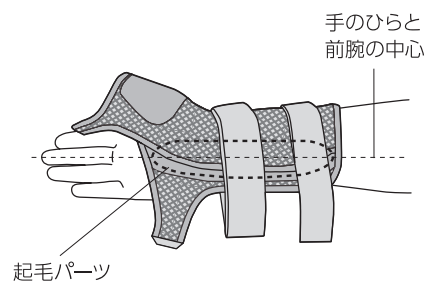
・手のひら側



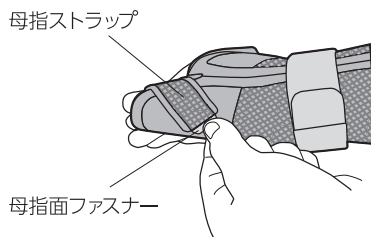
・甲側



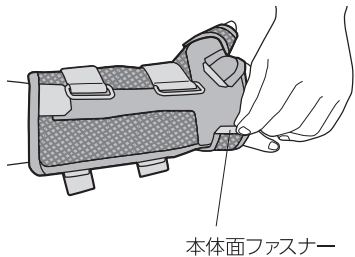
9) 手のひらと前腕の中心と、製品の起毛パーツの中心の位置を合わせます。



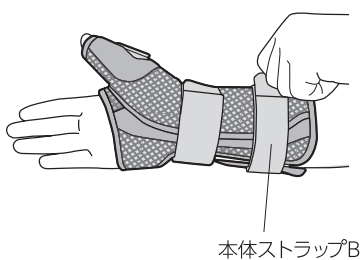
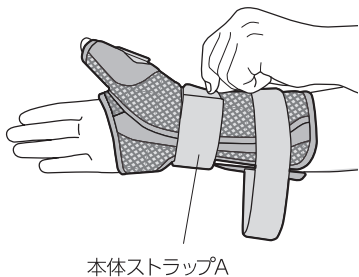
10) 母指部分のシーネをしっかりとモールドングした後に、母指ストラップを母指に巻きつけながら、母指面ファスナーをとめます。



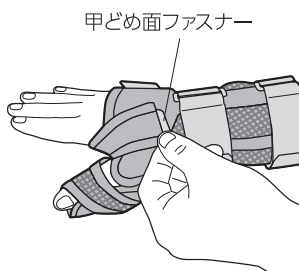
11) 本体面ファスナーをとめます。



12) 本体ストラップAをコカンに通し、引っ張ってストラップに重ねてとめます。同様に、本体ストラップBをコカンに通し、引っ張ってストラップに重ねてとめます。



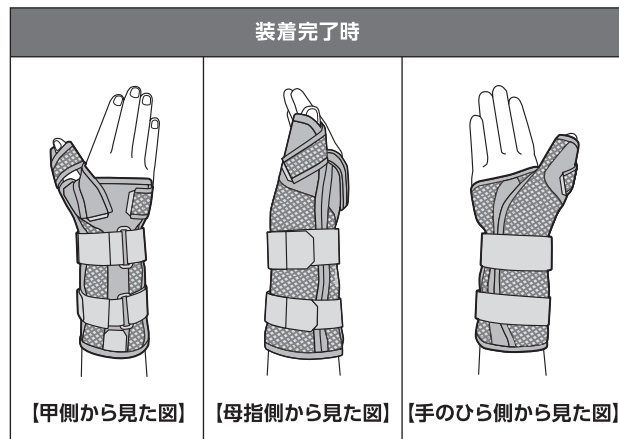
13) 仮どめしていた甲どめ面ファスナーを、ゆるみがないようにとめなおしてください。



14) ギプスシーネをモールドングします。母指や手首部分の形状に合わせて、ギプスシーネの形状を整えます。

15) シーネホルダーのゆるみやズレがないか、「2. 装着完了時」の図を参照して確かめてください。違和感がある場合は、再度始めから装着し直してください。

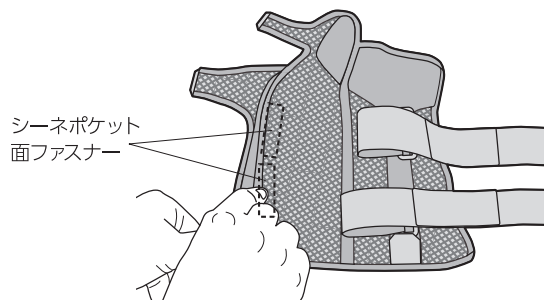
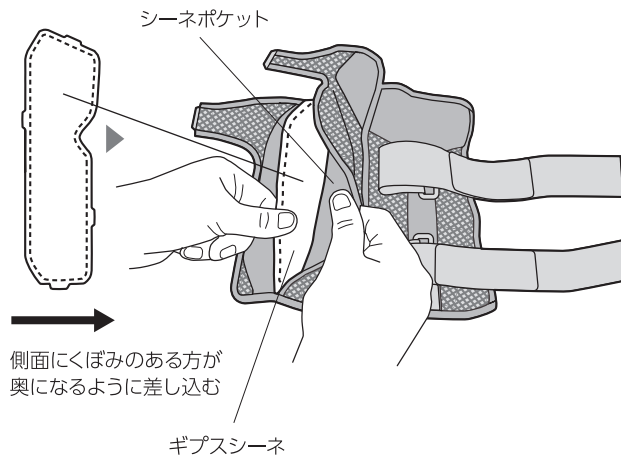
2. 装着完了時 (右手の場合)



3. ギプスシーネ・ステーの取り外し

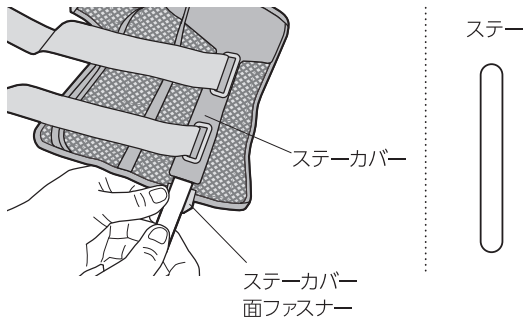
1) ギプスシーネ

上下、表裏を間違えないようにシーネポケットに挿入してください。側面にくぼみのあるほうが甲側になります。ギプスシーネはシーネポケットの奥まで入れてください。シーネを入れた後に、シーネポケット面ファスナーをしっかりとめてください。



2) ステー

ステアーを挿入する際は、下端のステアーカバー面ファスナーを外して挿入してください。ステアーに向きはありません。



【使用上の注意】

1. 使用注意 (次の患者には慎重に適用してください)

1) 患部に潰瘍、発疹等がある患者
[症状を悪化させるおそれがあります。局所管理を十分行ってください。]

2) 皮膚過敏症、化学繊維アレルギーのある患者
[皮膚障害が発生する可能性があります。局所管理を十分行ってください。]

2. 重要な基本的注意

- 1) 箱を開ける際には、カッター等で中身にキズをつけないように注意してください。
- 2) 使用前にギプスシーネの硬化等の異常が認められた場合は、使用しないでください。
- 3) ギプスシーネのシーネカバーから樹脂が染み出している場合は、使用しないでください。
[樹脂が皮膚に付着することで皮膚障害を起こしたり、硬化した樹脂で皮膚を傷つけたりする可能性があります。]
- 4) 樹脂が皮膚や衣類等につかないようにしてください。樹脂がついた場合は、硬化する前によく洗い流してください。アルコール又はアセトンで軽く拭くと樹脂が皮膚から落ちやすくなります。
[樹脂が皮膚に付着することで皮膚障害を起こしたり、硬化した樹脂で皮膚を傷つけたりする可能性があります。]
- 5) ギプスシーネは、水に濡らすとすぐに硬化が始まりますが、完全に硬化するまで無理な力をかけないように注意してください。
- 6) 環境条件によって硬化時間は異なります。使用する水の温度が低いと硬化時間が長くなることがあります。
- 7) モールドリングをする際には、指先等で局所的に圧力を加えないでください。
[部分的に突起して固定部位を圧迫し、症状を悪化させるおそれがあります。]
- 8) 本品の固定を行う際には、ストラップをきつく締めすぎないようにしてください。
[神経麻痺や血行障害を起こすおそれがあります。]
- 9) 本品と皮膚との間に異物を巻きこまないようにしてください。
[皮膚障害を起こすおそれがあります。]

- 10) 完全に硬化する前にクッション材等で固定部位を覆わないでください。
[低温熱傷を引き起こすおそれがあります。]
- 11) 装着後に発熱による不快感が強い場合には、ただちに本品を取り外してください。
- 12) 長時間及び頻繁に本品が湿った状態にならないようにしてください。
[かぶれを起こすおそれがあります。]
- 13) 本品の使用中に発赤、かぶれ、痛み等の症状が現れた場合には、ただちに使用を中止してください。
- 14) 本品が破損した場合には、ただちに使用を中止してください。
- 15) ホイルパックにキズをつけたり、穴を開けたりしないようにしてください。
- 16) 面ファスナーには硬い素材を使用しています。まれに指や肌を傷つける場合がありますので注意してください。
- 17) シーネホルダーのメッシュ生地に面ファスナーをつけないでください。
[生地をいためる原因となります。]
- 18) シーネカバーに面ファスナーをつけないでください。
[生地をいためる原因となります。]
- 19) 本品は処方された方以外は使用しないでください。
- 20) 本品は滅菌しないでください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- ・直射日光、多湿を避けて保管してください。
- ・15～30℃以下の涼しい場所で保管してください。
- ・開封後はすみやかに使用してください。
- ・箱の上下の向きを正しく保管してください。

2. 使用期限

外箱に記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 日本シグマックス株式会社
連絡先 電話: 0800-222-6122
外国製造所国名: 韓国
外国製造業者: BL Tech Co., Ltd.